昭和大学新聞

学校法人　昭和大学
発行人　小口勝司
電話（3784）8000　〒142-8555
東京都品川区旗の台1の5の8
1部50円　毎月1回発行

1年生が富士吉田キャンパスに入寮
いよいよ全寮生活がスタート

新型コロナウイルス禍で延期となっていた1年生の富士吉田キャンパスへの入寮が8月28日から30日の3日間に分散して行われた。感染リスクを減らすため、午前と午後に分けて旗の台キャンパスでPCR検査を実施し、陰性を確認後、バスで富士吉田キャンパスへ向かった。初日となる28日には赤松寮と白樺寮へ、29日にはすみれ寮、30日には百合寮への入寮が完了した。

出発するバスと見送る久光正学長

PCR検査を受ける1年生

入寮する1年生

また、8月31日には5か月遅れの入寮式が挙行され、久光正学長と小口勝司理事長からあいさつがあり、倉田知光富士吉田教育部長からは1年生の入寮を祝うとともに新型コロナウイルス感染予防を含めた今後の寮生活について説明があった。

富士吉田キャンパスでは新型コロナウイルスへの厳重な対策として教職員全員がすでにPCR検査を受けており、他施設の教育職員がキャンパスに立ち入る際は事前にPCR検査を受けることとなっている。

あいさつする倉田知光富士吉田教育部長

保健医療学研究科に新たなコースを設置
遺伝カウンセリング・医学物理教育

遺伝カウンセリングコースと医学物理教育コースが令和3年4月、大学院保健医療学研究科博士前期課程に設置される。

両コースでは遺伝医療の臨床と研究を積極的に推進していくことのできる人材の養成や広く臨床の現場で活躍できる実践的な医学物理士の育成を目的として、昨今需要が高まる同分野に注力していくものである。

両コースはそれぞれ認定遺伝カウンセラー制度委員会および医学物理士認定機構へ認定申請を行っており、認定教育コースとして承認されれば、同コースの修了者には認定試験受験資格が与えられる。

コースの責任者には、遺伝カウンセリングコースに渡邊知映教授（保健医療学部）、医学物理教育コースに宮浦和徳講師（保健医療学研究科）が、それぞれ任命された。

保健医療学研究科　教授　渡邊　知映

認定遺伝カウンセラー®は遺伝医療を必要としている患者や家族に適切な遺伝情報や社会の支援体制等を含むさまざまな情報提供を行い、心理的、社会的サポートを通して当事者の自律的な意思決定を支援する保健医療専門職です。近年、出生前診断や遺伝性腫瘍、がんゲノム医療など、広く遺伝学的検査や診断が行われるようになってきました。それにより、遺伝医療の臨床や研究に欠くことのできない遺伝カウンセリングの一端を担う認定遺伝カウンセラー®のチーム医療の一員としてのニーズが飛躍的に増しています。

本コースの一年目は、遺伝カウンセリング実践の基礎的知識となる人類遺伝学、遺伝カウンセリングの基本概念、家系図の作成方法、遺伝性疾患の診断や治療・管理といった臨床遺伝学、遺伝医療に関わる倫理的課題等を学びます。また、実際の遺伝学的検査に触れる演習や、事例を想定して遺伝カウンセリングに必要となる情報の収集や心理社会的問題を検討し、遺伝カウンセリングを実践するロールプレイ演習を行います。二年目は昭和大学病院での遺伝カウンセリング実習が始まります。臨床遺伝医療の第一線で活躍する医師や、認定遺伝カウンセラー®の指導のもと、カンファレンスや外来等に陪席し、臨床遺伝の実際を学びます。修了時は保健医療学修士が授与されます。

認定遺伝カウンセラー®となりうる基盤の職種としては看護師、保健師、助産師、臨床心理士、薬剤師、臨床検査技師などの医療専門職をはじめ、生物学・生化学などの遺伝医学研究者やその他の人文・社会福祉系などの専門職が考えられます。本コース出願の際には、事前面談が必須となります。ぜひ、新設される遺伝カウンセリングコースで一緒に学びましょう。

保健医療学研究科　講師　宮浦　和徳

医学物理学とは、物理工学の知識・成果を医学・医療に応用・活用することを目的とする学問です。医学物理士は、放射線医学における物理的および技術的課題の解決に先導的役割を担う者として、放射線を用いた医療が適切に実施されるように、医学物理士の専門家としての役割を業務とする医療職です。医師や診療放射線技師と連携を図り、高精度放射線治療における治療計画の最適化の実施や、治療装置の品質管理・保証プログラム策定・実施・評価などを行います。また、多職種カンファレンスへ参加し、チーム医療の一端を担っております。放射線治療におけるQuality management（品質管理）を行う職種です。欧米および近隣の中国、台湾、韓国では確立した医療職であり、多くの医学物理士が放射線医学の進歩に大きな貢献をしています。本邦では医学物理士の数が圧倒的に不足していますので、需要は多く今後ますます発展が期待される領域です。

本コースの対象は、理工学系・放射線技術系学士の学位を有している方です。すでに医療に従事されている診療放射線技師の方も学ぶことができます。医学物理士の資格を得るには、医学物理士認定機構（JBMP：Japanese Board for Medical Physicist Qualification）が定める認定医学物理教育コースを修了したのち、JBMPが実施する医学物理士認定試験に合格する必要があります。

昭和大学の病院間連携の強みを活かし、実習型教育に注力した、臨床の現場で活躍できる実践的な医学物理士の育成を目指しております。本コースで医学物理士を目指し、放射線医学の最前線を支える環境のもと、自分の可能性をためしてみませんか。

入試選択科目に国語を採用
インターネット出願導入も

本学は2021年度入学試験から、全学部で行う学校推薦型選抜入試、一般選抜入試Ⅰ・Ⅱ期において、新たに国語を選択科目として採用する。これにより数学もしくは国語のどちらかの科目を選択することとなる。

これは論理的思考力の適切な評価のために新たに採用したもので、学力の3要素「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を入学者選抜段階において多面的・総合的に評価する。

また、全ての入試においてインターネット出願を新たに導入する。従来の紙による出願は廃止し、インターネット出願のみとすることで、願書の取り寄せが不要となるほか、出願登録時に内容をチェックが行われ、不備なく確実な出願が行える。さらに、検定料の支払いについても、クレジットカード、インターネットバンキング、コンビニエンスストアから支払いが可能となる。

※詳細は本学のホームページを参照
https://adm.showa-u.ac.jp/

9月号の内容

1面
・1年生が富士吉田キャンパスに入寮
・入試選択科目に国語を採用
・保健医療学研究科に新たなコースを設置
2面
・パーキンソン病原因タンパク質の一端を解明
・森悠一講師が2020 GIE and VideoGIE Reviewer Award受賞
・日本骨形態計測学会の若手研究者賞を受賞
・セカンド・サードレベル開講式を開催
・新型コロナウイルスとの長期戦　―心と体を守るために―
3面
・令和2年度科学研究費助成事業採択課題一覧（歯学部）
4面
・「新しい生活様式」における私のステイホーム
・新型コロナウイルス対応PCRセンター検査数10000件を超える
・附属病院看護業績賞表彰式を開催
・昭和大学サポート寄付金寄付者氏名
・就任のお知らせ

〔問合せ先〕
【本紙について：総務課出版・WEB係】
03-3784-8059
press@ofc.showa-u.ac.jp
【各種募金・寄付について：企画課】
03-3784-8387
【学事について：学務課、大学院課、入学支援課】
03-3784-8022（旗の台）
0555-22-4403（富士吉田）
045-985-6503（横浜）
03-3784-8026（入学支援課）

MUFG　三菱UFJ銀行
保険・資産運用・住宅ローン等のご相談は
各最寄の店舗までお気軽にご相談下さい。
長原支店　TEL：03-3720-0171
横浜藤が丘支店　TEL：045-971-2201
港北ニュータウン支店　TEL：045-941-1512
深川支店　TEL：03-3641-8301
烏山支店　TEL：03-3307-3613